

私の通う中学校はあまり校則が厳しくなかつた。だが、学校によつては服装や髪型などについて細かく取り決められている学校もあると言う。校則が厳しすぎる時、それを無視しても仕方がないと考える人もいるが、それは正しいだろうか。

確かに、世の中にはおかしなルールもある必要以上の服装や髪型の規定がある校則などはそのいい例だ。生徒の個性を無視した画一的な格好を強制するのは、基本的人権を無視しているような気もする。しかし、そうした校則のある学校を選んで入学した以上は、そのルールに従う責任があるのではないだろうか。

例えばサッカーの試合を考えてみよう。ある人がサッカーをやりたいなくなってサッカーの試合に参加したとする。ところが、その人が試合の途中で、手が使えないというルールに理不尽さを感じ、突然ボールをつかんでゴールに駆けていったとしたら、誰も彼の行動を

擁護しないだろう。キーパー以外はボールを手でつかめないのがサッカーというスポーツであり、そのルールがサッカーというゲームを作っているのだ。そのルールが嫌だと言うなら、初めから参加しなければいいのである。校則も同様だ。その校則がその学校を成り立たせているのであり、それがなくなればその学校はもう別の学校になってしまふ。嫌なら入らなければ良いのだ。これは校則だけではない。国の法律にしても、従えないならその国から出て行けばよい。

以上の理由で私は、どんなルールでも、そのルールのある社会に属している以上は、それに従うべきだと考える。

。